



上州藤岡上杉管領太鼓のメンバーが和太鼓の魅力を伝えました。



和太鼓で友好深める 9/下

9月28日から10月2日まで、和太鼓グループ「上州藤岡上杉管領太鼓」のメンバー3人がカナダ・リジャイナ市を訪問しました。本市とリジャイナ市とは、平成3年から中学生ホームステイ事業を実施しておりますが、市民団体の交流は今回が初めて。

現地では、地元和太鼓グループ「響太鼓」のメンバーへの指導を行い、共演も行いました。また、住民を招いた体験会では、子どもからお年寄りまで大勢の人が集まって、一緒にばちを握り日本文化に触れ、交流を深めました。



外国人に笑顔で積極的に話し掛けていました。

交流の輪をひろげよう 10/14

国際交流まつりが今年もらん藤岡で開催され、外国人との交流ゲームやステージ発表、外国料理の無料配布、民族衣装体験などを通して外国人と触れ合い、交流を深めました。

また、国際交流啓発コンクール(絵・ポスター、標語、写真)の表彰式も併せて行われました。

児童一人一人、「引き渡しカード」により確認。



学校と家庭で連携を確認 10/4

大地震などの災害に備え、保護者に確実に児童生徒を引き渡し、安全確保ができるようにすることを目的として、小野小学校と小野中学校が合同で「引き渡し訓練」を初めて行いました。

当日、保護者は徒歩で迎えに来て、児童生徒の通学路の安全確認も併せて行いました。

群馬県副知事から新井雅博市長へ賞状と盾が授与されました。



古代文化に触れる 古墳や埴輪の魅力発信 10/14

群馬県が東日本最大の古墳大国であり、古代東国文化の中心地であったことをPRする目的で「群馬古墳フェスタ2018」が藤岡歴史館および毛野園白石丘陵公園で開催され、市内外から1万4,000人が訪れにぎわいました。

また、県内で出土した数多くある埴輪の中から最も人気のある埴輪を決定する「群馬HANI-1グランプリ」に埴輪100体がエントリーし、本市代表の「笑う埴輪」がグランプリを獲得しました。なお、「笑う埴輪」は、12月末まで藤岡歴史館に展示してあります。

